

## 「令和5年度助産実践能力強化のためのスキルアップ研修」実施要領

主催：石川県 公益社団法人石川県看護協会（石川県受託事業）

### 1. 事業目的

助産師をはじめ産科医療に携わる者を対象とした専門的な研修を実施することで、助産実践能力の向上を図り、本県の産科医療提供体制の充実・強化を図る。

### 2. 研修目標

助産実践能力強化のために必要な診断・ケアに関する知識および技術について、講義をとおして習得する。

### 3. 内容（研修テーマ）「あなたは母子をどう守りますか」

研修No.1 妊娠期から産褥期のメンタルヘルス

研修No.2 災害時対応

研修No.3 分娩介助における進行の評価と異常時の対応

研修No.4 胎児心拍数モニタリングの判読と管理

**※ すべて ZOOM 研修**

### 4. 対象（参加条件）

助産実践のスキルアップに関心がある看護職

各研修定員 100 名

※ 定員超過の場合は、助産師の受講を優先する。養成施設の中では助産師課程の教員を優先する。

### 5. 申込方法

公益社団法人石川県看護協会 HP 又は右 QR コードより申し込む

石川県看護協会 HP⇒教育計画⇒WEB 申し込み

#### 【申込締め切り】

研修No.1 令和5年10月17日（火）

研修No.2 令和5年11月21日（火）

研修No.3 令和5年12月5日（火）

研修No.4 令和5年12月26日（火）



【問い合わせ先】石川県看護協会 塚脇：076-232-3578

E-mail：josanshi-t@nr-kr.or.jp

### 6. 受講決定

参加申し込み受付完了時点で受講決定とする。

### 7. 受講証明書の交付

研修No.1～4のそれぞれにおいて、受講証明書を交付する。

CLoCMIP レベルⅢ認証申請に必要な選択研修又は必須研修となっており、研修修了書を交付する（助産師のみ）

※ 遅刻者、早退者には交付しません。

### 8. 受講料

無料

## 令和5年度 研修プログラム

### 研修No.1 妊娠期から産褥期のメンタルヘルス

ねらい	妊娠期から産褥期のメンタルヘルスの基礎を理解し、産後うつ予防と早期発見、対応について学ぶ
内 容	<p>講義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 妊産婦のメンタルヘルスの重要性 児童虐待、妊産婦の自殺など</li> <li>2) 基礎知識 妊産婦の心理、母子相互作用、愛着形成や乳幼児の発達に与える影響</li> <li>3) 助産師の役割と臨床での取り組み 妊産婦への対応の基本 ローリスク、ハイリスク妊産婦への支援</li> <li>4) 薬剤投与と授乳など</li> <li>5) 多職種連携について</li> <li>6) 事例紹介</li> </ol>
講 師	市川 俊介：金沢医療センター 精神科医長 丸山 早紀：金沢医療センター 助産師
日 時	令和5年 10月29日(日) 10:00～12:30

### 研修No.2 災害時対応

ねらい	災害時における周産期医療のあり方と所属施設の果たすべき役割を理解し、所属組織の分娩領域における災害時体制整備について考えることができる
内 容	<p>講義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 災害時における周産期医療体制の現状</li> <li>2) 国と都道府県・市町村行政の役割</li> <li>3) 災害時小児周産期リエゾンの活動</li> <li>4) 広域災害救急医療情報システム (EMIS)</li> <li>5) 医療計画における周産期医療機能ごとの役割</li> <li>6) 業務継続計画</li> <li>7) 災害時の連携の必要性</li> <li>8) 平時の備え (災害訓練等)</li> <li>9) 日頃の備えに対するマニュアル作成と活用</li> <li>10) 中・長期的な支援に必要なマニュアルの作成と活用</li> </ol>
講 師	上野 康尚：県立中央病院 総合母子医療センター長 登谷 美知子：県立中央病院 災害看護専門看護師
日 時	令和5年 12月3日(日) 10:00～12:30

### 研修No.3 分娩介助における進行の評価と異常時の対応

ねらい	分娩の進行状況の評価や、正常からの逸脱・急変時の対応について理解できる。
内 容	<p>講義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 回旋異常、遷延分娩、肩甲難産など、進行に関する異常と対応</li> <li>2) 母体急変時の判断と初期対応 出血や疼痛 (子宮収縮不全、常位胎盤早期剥離、子宮内反、血腫、癒着胎盤など)、HELLP 症候群、肺塞栓、母体感染など</li> <li>3) 事例紹介</li> </ol>
講 師	飯塚 崇：金沢大学附属病院 助教
日 時	令和5年 12月17日(日) 10:00～12:30

#### 研修No.4 胎児心拍数モニタリングの判読と管理

ねらい	胎児心拍モニタリングに関する原理原則を理解し、分娩経過にそったモニタリング波形の判断と適時報告および対処法のスキルアップができる
内 容	講義 1) 胎児心拍数の変動のメカニズム 2) 分娩時の経時的変化の中での波形の解釈 3) リスク所見の適時報告と方法 4) リスクを認めた事例の助産師などに求められる対応 5) 脳性麻痺事例の CTG について 6) 緊急事態の事例に関する判読練習
講 師	鏡 京介：金沢大学附属病院 周産母子センター助教
日 時	令和6年 1月14日(日) 10:00 ~ 12:30